

平成17年国勢調査 第1次基本集計結果

(平成18年8月16日総務省公表)

鹿児島県の概要

1 総人口

平成17年10月1日現在の本県の総人口は1,753,179人で、前回調査の12年に比べ33,015人、1.8%減少している。

2 男女別人口

人口を男女別にみると、男性が819,646人、女性が933,533人で、女性が113,887人多く、人口性比（女性100人に対する男性の数）は、平成12年の88.4から87.8と低下している。

表1 県の人口

	平成17年			平成12年		
	総数	男性	女性	総数	男性	女性
人口	1,753,179	819,646	933,533	1,786,194	837,979	948,215
前回と の増減	(人) -33,015	-18,333	-14,682	-8,030	-3,001	-5,029
	(%) -1.8	-2.2	-1.5	-0.4	-0.4	-0.5

3 年齢別人口

人口を年齢別にみると、15歳未満人口は252,285人（県人口の14.4%）、15～64歳人口は1,065,960人（同60.8%）、65歳以上人口は434,559人（同24.8%）となっている。これを平成12年と比べると、それぞれ、1.3ポイント低下、0.9ポイント低下、2.2ポイント上昇している。

表2 年齢別人口の割合（単位：人）

平成17年				平成12年			
総数	15歳未満	15～64歳	65歳以上	総数	15歳未満	15～64歳	65歳以上
1,753,179	252,285	1,065,960	434,559	1,786,194	280,717	1,101,401	403,239

表3 年齢別人口の割合（単位：%）

平成17年				平成12年			
総数	15歳未満	15～64歳	65歳以上	総数	15歳未満	15～64歳	65歳以上
100.0	14.4	60.8	24.8	100.0	15.7	61.7	22.6

表2、3における総数には年齢不詳が含まれる。

4 市町村別人口

人口を市町村別にみると、鹿児島市が604,367人（県人口の34.5%）で最も多く、次いで薩摩川内市が102,370人（同5.8%）、鹿屋市が81,471人（同4.6%）となっており、最も少ないのは三島村の462人（同0.0%）となっている。

前回調査の12年からの5年間で人口が増加したのは8市町で、最も増加率が高いのは始良町の4.0%増、次いで国分市（2.5%）、高尾野町（1.4%）となっている。

また、市町村別に65歳以上人口の割合をみると、笠沙町が46.3%で最も高く、以下、大浦町（43.7%）、坊津町（42.2%）と続き、40市町村で30%を越えている。一方、最も低いのは国分市の16.6%で、次に鹿児島市（18.8%）、隼人町（21.2%）と続いている。

市町村名は、平成17年10月1日現在

表4 人口の多い市町村，少ない市町村

多い市町村		人口	県人口に占める割合	少ない市町村		人口	県人口に占める割合
1	鹿児島市	604,367	34.5%	1	三島村	462	0.0%
2	薩摩川内市	102,370	5.8%	2	十島村	673	0.0%
3	鹿屋市	81,471	4.6%	3	住用村	1,784	0.1%

表5 人口増減割合の高い市町村

増加した市町村		増加率	減少した市町村		減少率
1	始良町	4.0	1	坊津町	-11.7
2	国分市	2.5	2	十島村	-11.0
3	高尾野町	1.4	3	大浦町	-10.5

表6 65歳以上人口の割合の高い市町村，低い市町村

高い市町村		65歳以上人口割合	低い市町村		65歳以上人口割合
1	笠沙町	46.3	1	国分市	16.6
2	大浦町	43.7	2	鹿児島市	18.8
3	坊津町	42.2	3	隼人町	21.2

5 配偶関係

15歳以上人口の配偶関係をみると，有配偶率は男性が63.4%，女性が54.3%，未婚率は男性が28.5%，女性が22.1%となっている。

表7 配偶関係^(注)

平成17年						平成12年					
有配偶率			未婚率			有配偶率			未婚率		
総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性
58.5	63.4	54.3	25.1	28.5	22.1	59.9	64.9	55.6	25.0	28.3	22.1

(注) 配偶関係は有配偶，未婚，死別，離別に区分

6 外国人

県内に在住する外国人は4,906人で，平成12年に比べ1,281人，35.3%増加している。

表8 外国人の人口

平成17年			平成12年		
総数	男性	女性	総数	男性	女性
4,906	1,327	3,579	3,625	1,290	2,335

7 世帯数

総世帯数は725,045世帯で，平成12年に比べ8,435世帯，1.2%増加している。

このうち一般世帯数は722,937世帯で，平成12年に比べ8,524世帯，1.2%増加している。また，一般世帯のうち1人世帯は228,495世帯（一般世帯の31.6%）と最も多くなっている。

一般世帯の1世帯当たり人員は平成12年の2.43人から2.35人と減少している。

表9 世帯数

	平成17年				平成12年	
	世帯数	前回との増減 増減数	増減率	1世帯当 たり人員	世帯数	1世帯当 たり人員
総世帯	725,045	8,435	1.2	-	716,610	-
一般世帯	722,937	8,524	1.2	2.35	714,413	2.43
1人世帯	228,495	13,312	6.2	-	215,183	-
施設等の世帯	1,824	241	15.2	-	1,583	-

8 世帯の家族類型

世帯の家族類型をみると、核家族世帯^(注)は444,204世帯（一般世帯の61.4%）で、このうち夫婦のみの世帯は172,185世帯（同23.8%）、夫婦と子供から成る世帯は206,684世帯（同28.6%）となっている。また、単独世帯は228,495世帯（同31.6%）となっている。

（注）夫婦のみ、夫婦と子供、男親と子供、女親と子供から成る世帯

表10 世帯の家族類型

	平成17年				平成12年	
	世帯数	前回との増減		一般世帯に占める割合	世帯数	一般世帯に占める割合
		増減数	増減率			
核家族世帯	444,204	-1,849	-0.4	61.4	446,053	62.4
夫婦のみ世帯	172,185	1,246	0.7	23.8	170,939	23.9
夫婦と子供世帯	206,684	-9,765	-4.5	28.6	216,449	30.3
単独世帯	228,495	13,312	6.2	31.6	215,183	30.1

9 65歳以上親族のいる世帯

65歳以上親族のいる一般世帯は286,157世帯（一般世帯の39.6%）で、このうち「一人暮らし高齢者」（65歳以上の単独世帯）は96,567世帯（65歳以上親族のいる一般世帯の33.7%）、高齢夫婦世帯^(注)は94,873世帯（同33.2%）となっている。

（注）夫が65歳以上、妻が60歳以上の夫婦1組のみの一般世帯

表11 65歳以上親族のいる一般世帯

	平成17年				平成12年	
	世帯数	前回との増減		割合	世帯数	割合
		増減数	増減率			
65歳以上親族のいる世帯	286,157	14,573	5.4	^(注1) 39.6	271,584	^(注1) 38.0
一人暮らし高齢者	96,567	8,025	9.1	^(注2) 33.7	88,542	^(注2) 32.6
高齢夫婦世帯	94,873	4,406	4.9	^(注2) 33.2	90,467	^(注2) 33.3

（注1）一般世帯に占める割合

（注2）65歳以上親族のいる一般世帯に占める割合

10 住居の状態

住居の状態をみると、住宅に住む一般世帯の持ち家率は66.0%で、平成12年に比べ0.9ポイント低下している。また、住宅に住む一般世帯の1世帯当たりの延べ面積は、平成12年の84.8㎡から86.1㎡と広がっている。

表12 住居の状態

	平成17年		持ち家率	平成12年	
	1世帯当たり延べ面積(㎡)	1人当たり延べ面積(㎡)		1世帯当たり延べ面積(㎡)	1人当たり延べ面積(㎡)
持ち家率	86.1	36.5	66.9	84.8	34.7
	86.1	36.5	66.0	84.8	34.7